

令和8年3月30日

各位

会社名	株式会社アイビー化粧品
代表者名	代表取締役社長 白銀 浩二 (コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先	常務取締役 経営管理部 部長
役職・氏名	中山 聖仁
電話	03-6880-1201

日本薬学会第146年会における研究発表のお知らせ (3)

株式会社アイビー化粧品（本社：東京都港区赤坂 社長：白銀浩二）は、令和8年3月27日～29日に開催の日本薬学会第146年会において、下記の研究発表を行ったことをお知らせいたします。

記

1. 研究発表タイトル

皮膚ホメオスタシス破綻に關与するIL-22シグナルの制御を行う新規植物抽出物の探索と作用機序の解析

Identification and functional analysis of novel plant extracts modulating skin homeostasis disruption via IL-22 signaling regulation

2. 概要

本研究は、工学院大学先進工学部、山口大学大学院医学系研究科、同志社大学生命医科学部との共同研究です。皮膚は、病原微生物や抗原などの外界から侵入する異物に対するバリア機能や、水分保持機能などを担う非常に重要な器官です。こうした皮膚の機能には、肌のホメオスタシスが重要な役割を果たす一方で、ホメオスタシスの乱れにより、シワ、ハリの低下、アトピー性皮膚炎や乾癬等の疾患の原因ともなります。

肌のホメオスタシスは、表皮細胞や真皮の線維芽細胞などの皮膚実質細胞に加え、T細胞やマクロファージ、ランゲルハンス細胞、マスト細胞、B細胞など様々な免疫細胞の相互作用により制御されています。

IL-10ファミリーに属するサイトカインであるIL-22は、慢性炎症性皮膚疾患の乾癬の病変部や汎発性強皮症患者の末梢血中において発現亢進が見られ、psoriasis area and severity index (PASI) スコアと相関することも報告されています。また、皮膚の表皮角化細胞においてIL-22は、psoriasin (S100A7)、calgranulin A (S100A8)、B (S100A9) 等の抗菌ペプチドの発現を誘導し自然免疫に關与することが知られています。その一方でIL-22は角化細胞の増殖を誘導し表皮肥厚を引き起こすと同時にその終末分化を阻害しバリア機能の低下に關与することも知られています。

IL-22はT細胞サブセットの一つであるTh22により産生されることが知られており、Th22は、TNFα、IL-6等により分化誘導され、aryl hydrocarbon receptor (AHR) を介してIL-22を産生しています。

従って、Th22の過剰な分化および表皮細胞の過度なIL-22応答を抑制できる成分は、T細胞を中心とした皮膚のホメオスタシス制御において重要な役割を果たすと考えられます。

そこで本研究では、TNFα・IL-6・IL-22が誘導するシグナル伝達に着目しスクリーニングを行いました。その結果、Th22分化及び表皮におけるIL-22応答の制御が期待される複数の植物抽出物を同定しました。

本研究で得られた植物抽出物による過剰な免疫活性化の抑制は、皮膚免疫恒常性の維持を通じた

化粧品のアプローチ標的としても有効であると考えられ、さらに製品応用への展開も期待されます。

3. 今後業績に与える影響

現時点では、当期業績への影響はございません。

以 上